

# 川崎医療生協

## 11月号

川崎駅前支部 あじさい班  
鈴木 キヌ子



### 川崎医療生協の現状

組合員 44,593人  
出資金 1,560,485,500円

川崎医療生協では一世帯5万円以上  
の出資金をめざしています。

発行所 川崎医療生活協同組合 〒210-0804川崎市川崎区藤崎4-21-2 発行責任者 木下 隆成  
定価1部10円千60円 (購読代金は出資金に含まれています) TEL.044 (270) 5881

### 今月号の紙面

◆やさしい医学の歴史  
こんにちは 看護師長です 2



- ◆脳トレ・ロコトレ・ワンツースリー 3
- ◆組合員の広場 4
- ◆新シリーズ班会探訪 5



- ◆読者の広場・パズル 7
- ◆伝えたい思い 8

# コミュニティづくりが医療生協の魅力!

## 認知症になっても仲間で見守ってあげれば

川崎医療生活協同組合(桑島政臣理事長)では毎年10月から11月を生協強化月間として、組合員や出資金、班を増やしたり、健康まつりなどのイベントを行ったりして、地域とのつながりを深めています。そのためとくに医療生協がアピールしているのが、組合員がつくる多くの「班」です。「班」とは何かその魅力を紹介します。

### 組合員3人寄れば「班」

班は、組合員が3人集まればできる、医療生協を支えるグループです。各班では、毎月1回程度集まってお茶を飲みながら話したり、医師や看護師などの専門家を呼んで学習会をしたり、カラオケが好きな仲間と楽しんだりしています。しかし、ただ好きなことだけを行っているのではなく、健康づくりをすすめる医療生協の方針にもとづいて、定期的に自分たちで血圧や体組成、尿チェックや骨密度チェックを班会の中で行っています。

川崎医療生協では地域の絆づくりを大切にしています。住み慣れた地域で健康やかに生活するためには、地域のコミュニティづくりは欠かせません。また、最近は一入暮らしの人も増え、「1日何もしゃべらな



班づくりをすすめる来住律子理事

かった」、「相談できる人が近くにいない」など、日々の暮らしの中で不安に感じている人もいます。そんな時に、班の仲間と楽しくおしゃべりしたり、生活の中のちょっとした不安を話したりすることで、暮らしに活力が生まれることが期待されます。

### 生活の不安を解消

川崎医療生協では地域の絆づくりを大切にしています。住み慣れた地域で健康やかに生活するためには、地域のコミュニティづくりは欠かせません。また、最近は一入暮らしの人も増え、「1日何もしゃべらな

### 「絵手紙やってみようから班を！」

協同病院と協同ふじさきクリニックの間に「ふれあいの家ひまわり」という、川崎医療生協のOBが「地

域の役に立ちたい」という思いから立ち上げた場所があります。病院やクリニックの帰りに患者さんがちょっとした立ち寄り先として軽食を取ったり、お茶を飲みながらおしゃべりをする場所をつくりたいと2013年12月にオープンしました。利用している人からは「家に一人でいると誰とも話さないから、ここで話せるのが楽しいです」、「家で一人で食事をしてもおいしくないの

で、ここでみんなと食べられるのがうれしいです」との感想が出ています。その場所に組合員さんが描いた絵手紙を飾っていたところ、「私も絵手紙やってみよう」と何人かの声が上がりました。「それじゃ、絵手紙をする班をつくらう」ということになり「向日葵班」が9月に誕生しました。最初に集まった組合員は6人。今後班員は増えていきそうです。月1回のペースで班会を行う予定です、班会を開催した時には

### 子育てもひと段落して

もうひとつの新班は、来住理事の住む藤崎(川崎区)で誕生しました。同じマンションに住み、同じ年の子どもを持つお母さんたちが、「昔は子どものことでよく集まってイベントをしたりワイワイやっていたけど、子どもが大きくなってからは集まらなくなったね」と感じ、「だったら班をつくってみよう」という声がかげよう」という話になり「櫻班」が誕生しました。

1回目の班会は6人が集まり、川崎医療生協の小松厚志運動トレーナーを呼んで健康体操を30分して、そのあと1時間おしゃべりをして盛り上がりしました。集まった人たちは、「体のあちこちが痛くなってくる年代。みんなでお茶を飲んで楽しくおしゃべりすれば



まずは健康体操!

元気になるし、お互いに励まし合うことができ、おまけに専門家も交えて健康のことや学べるなんて、一石二鳥どころか三鳥・四鳥だ!」と、班会を楽しみにしています。来住理事は「班会が地域にたくさんできて、長く続けられたらいいですね」とも話します。「これから先、班会に参加する人の中に認知症になる人がいるかもしれないけれど、でも、班の仲間がいるからこそ、地域とのつながりがあるからこそ、認知症になってもいいじゃん、近所の仲間で見守ってあげればいいじゃんって思えるコミュニティづくりが川崎医療生協の班会の魅力だと思っています」と、来住理事は笑顔で話します。

### あなたも作ってみませんか

ご近所さんで3人集まれば班を作ることできます。共通の趣味を持つ仲間が集まるもよし、楽しくおしゃべりをするもよし、さまざまな形の班がつかれます。

### 青い空

パラリンピックは多くの人々に感動と勇気、希望を与えてくれました。

スペシャルオリンピックス 神奈川県大会を観望したが、多くのボランティアの支えによる運営に感動しました▼先般の津久井やまゆり園の悲惨な事件は障害者のみならず多くの市民を震撼させました▼川崎の老人ホームの事件、県内病院での事件など痛ましくことが頻発▼利用者の環境、職員の労働条件、何よりも県の指定管理制度の中で経費の節約を余儀なくされ、サービスの低下や職員不足が事件の背後にあるのでは...▼命と向き合う川崎医療生協の協同病院が、川崎市日中一時支援(障害児)者一時預かり事業を始めたことは、関係団体から称賛されています▼加えて福祉法人との懇談を通じて、わくわくプラザへの講師派遣が予定されていたり、訪問介護、健康チェック、ニュースの配布などをおこなっている地域見守り活動が県から評価され感謝状が贈られるそうです▼今こそ「一人は万人のために、万人は一人のために」を組合員のものにする時です▼医療生協として、命、暮らし、平和の課題の強化がますます求められています。

# 健康・医療



オットー・ゴットフリープ・ヨハン

・モーニッケは1814年ドイツ北東部の港町で生まれました。父は聖職者でしたが、父の友人の影響を受け、医師になろうと決意しました。ドイツで医師の資格を取り、一度は生まれ故郷で開業医となりましたが、1844年にオランダ領東インドのジャバに陸軍軍医として勤務しました。1848年、34歳のときに長崎出島のオランダ商館医師として来日し、1851年まで3年間日本に滞在しました。

## シリーズ やさしい「医学の歴史」⑤

### 江戸時代の外国人医師⑤ ~モーニッケ~

桑島 政臣

「聴診器」を持ちちこんだことで、聴診器はフランスの医師ラエンネックが1816年に考案しました。それまでは医師が自分の耳を、患者さんの胸に直接あてて音を聴いていました。この聴診器も徐々に日本に広まりました。

もう一つは日本に初めて

初めて日本に種痘(牛痘)をもたらした。日本の天然痘の予防に貢献しました。佐賀藩主鍋島重定はオランダ商館長に牛痘苗を求めていたので、オットーは来日の際に持参しましたが、航海中に効力が失われ、接種は成功しませんでした。そこで1849年に今度は牛痘苗を痘痂(かさぶた)の形でジャバから送ってもらい、接種したところ子ども3人のうち1人に成功し、この牛痘苗は徐々に日本に広まっていきました。この時の苦勞は、吉村昭の小説『雪の花』に書かれています。



モーニッケ医師

# こんにちは、看護師長です



川村美和子看護師長

## やっぱり私 変わった看護師かしら?

協同ふじさきクリニック 看護師長 川村 美和子

### キラキラの看護師さんに

この頃、看護学校の友人から川崎協同病院を紹介されました。病棟見学していた時、ある病棟で看護師長さんに「いつから来るの、待ってるよ」と、満面の笑みで声をかけられたのがとても印象に残り、看護師がキラキラしている病院で働きたいと思いました。それが私と川崎医療生協の出会いです。あれから20年以上になります。今もこの時の師長さんから刺激を受け、学んでいます。

### 私、変わってる?

個人的な先輩のもとで育ったおかげか、自分の性格なのか、当時の私はかなり変わった看護師だったと思います。今では考えられないことを病棟でしていたことを思い出します。例えば、夏の暑い日に急に病棟でかき氷を作ってみたり、大声で患者さんと歌いながら清拭をしたり(この時はさすがに医師に怒られました)などあげればきりがありません。今になって反省することばかりです。こんな私が今のよう

### 組合員とともに

10年以上協同病院の病棟で働き、診療所・介護老人保健施設を経験し、今年の6月からふじさきクリニックに異動になりました。ふじさきクリニックに来て地域の組合員のパワーのすごさを感じています。毎月の事業所利用委員会の会議では、様々なご意見をいただき学んでいます。クリニックのために皆さんの知恵を出し合いながら誰でも安心してかかれるクリニックを目指しこれからも組合員と共に頑張っていきたいと思っています。

生まれは、青森県北津軽郡です。雪深い田舎の高校を卒業し上京しました。上京した頃の頃は「2年看護学校行って卒業したら青森に帰ろう、田舎者の住む所じゃない」なんて思っていました。2年間学校に通い、なんとなく2年間准看護師として働いていました。勤務していた病院は急性期と療養型の病院で、先輩方はとても個性的で教育制度はなく看護師の仕事とは



組合員と指の体操

## 保育士募集中

### 川崎協同病院内たけのこ保育園

たけのこ保育園は、川崎医療生協職員のお子さん(おもに0~3歳)が入園するアットホームな小さな保育園(定員18人)です。

- ★給 与 月給179,200円~
- ★勤務時間 8時~19時の間でのシフト制
- ★休 日 日曜・祝日・年末年始
- ★応募資格要件 保育士資格
- ★勤 務 地 川崎市川崎区桜本 ※JR川崎駅からバス(所要時間約15分)桜本バス停より徒歩2分
- ★応 募 先 ワーカーズコープ センター事業団 川崎南事業所 たけのこ保育園 ☎044-280-4117



## 薬剤師さん大募集

<常勤・パート>

新卒・既卒を問いません。病院研修および卒業後研修も充実しています。お知り合いの方の紹介も歓迎いたします。奨学生も募集中!

### 応募・問い合わせ先

横浜市神奈川区鶴屋町3-35-1 第2米林ビル6F 一般社団法人 メディホープかながわ  
担当 渡部・中村まで  
電話 045(624)8704  
FAX 045(624)8706  
Email kanagawa@medi-hope.or.jp  
URL http://www.medi-hope.or.jp

川崎薬局 ☎299-4780 川崎協同病院横

大師薬局 ☎266-5759 大師診療所前

川崎コスモス薬局 ☎355-6395 京町診療所となり

## 「かいんビル」



介護用品・レンタル 2F かりん ☎287-7390

1F 川崎すみれ薬局 ☎287-7510

そよかぜ薬局 ☎533-1223 川崎セツメント診療所前

くじら薬局 ☎820-0331 久地診療所の近くくじらビル

組合員さん、はたらくみんなの薬局 **メディホープかながわ**



# 組合員の広場

## ブレイクダンスが大盛況

第12回青空健康チェックと平和のつどい&土建まつりが、9月25日に南河原公園で開催されました。神奈川県土建川崎支部との共同開催は5回目になります。

当日は、久しぶりの晴天に恵まれ暑い一日になりました。南河原支部は「玉こんにゃく」、御幸支部は「フランクフルト」、新婦人や土建組合の模擬店も多く出され、大勢の人でにぎわいました。

健康チェックコーナーは、血圧・尿・骨密度・体組成・足指力・血管年齢の6項目がならび、川崎セツルメント診療所の佐藤照美師長をはじめ、検査技師石渡悦郎さん、小松厚志運動トレーナー、介護福祉事業部白波瀬将さんが参加しました。合計203件のチェックが行われました。増資も22人からありました。中央舞台では、小杉支部石川のり子さんから紹介のブレイクダンスが演じられると舞台前は大勢の観客で盛り上がりました。小松厚志運動トレーナーと新婦人グループによる健康体操



ステージでは若者がブレイクダンスを披露

操など医療生協を大いにアピールしました。

木の実工作、輪投げ、木工工作やお菓子づくり、親子で楽しめるコーナー、原爆展、各種署名コーナーなどを行いました。

実行委員長 西尾 理恵子

## 90歳以上の組合員を訪問しました

京町診療所の職員と組合員合同のスタート集会在10月6日午後2時から始まりました。東小田支部は3人の運営委員と職員の水口敬人さんのグループで小田5丁目の90歳以上の組合員を訪問しました。

1軒目の組合員さんはお昼寝中でしたが、家族の方に声をかけてもらい、元気な姿を見せてもらい、話がはずみ、記念写真を撮りました。2軒目は本人はデイスリーブさようまちに行っていて留守でしたが、家族の話の話を聞くことができました。3軒目は本人がいて、週2回デイサービスようまちを利用して話していました。4軒目は1人住まいの方でした。入口の水槽に水カメが飼われ皆の話の話を聞いているように頭を上げてじっとしていました。もう1匹の陸カメもいて、一緒に寝ているのこのとでした。



訪問したお宅で記念撮影

今は高齢になり、散歩がでなくなると話をされていきました。いずれも今は元気ですが、国の介護が改善されたら家族も本人もとたんに大変になり、長生きできなくなるなど思いながら帰ってきました。

東小田支部 福田 雅子

## 「こいの家」で健康まつり

浜町支部では今年も田島老人こいの家と共催して「健康まつり」を天気にも恵まれた9月30日に開催しました。開催にあたっては、こいの家近隣へのチラシ家内を回っていただきご協力をいただきました。その甲斐あってか、34人が集まりました。

血圧、体組成、足指力、健康相談、栄養相談、歯科相談と多彩なとりくみを行いました。ほとんどの人ががすべのコーナーに立ち寄っていた。若千の待ち時間が発生。すかさず、運営委員が署名のお願いをして、小児医療費の署名が45筆

部健康づくり委員会では年間計画の中間計画の学習会を行いました。

小田支 しました。



みんなで取りくんだ健康チェック

## 健康チェック学習会

目的は「健康まつり」での健康チェックに参加するために健康チェックのやり方を学ぶ充実した内容で、小田支部以外の組合員も参加し、体組成計、骨密度計、足指力計、血圧計の使い方の実習を鼻田看護師長の解説からはじまり、参加者で意見交換しながら体組成や骨密度チェックの結果の数値の持つ意味を理解



みんな真剣に学習しています

川崎公害病患者と家族の会からの参加もあり、会場の「つながり」を深める契機となりました。折りにふれ、機器に触り、慣れていく事が大事なな感じ、とても有意義な学習会でした。

小田支部 塚原 静江

## 樹の丘祭りで骨密度



骨密度に感心が集まる!

介護老人保健施設樹の丘で恒例の「樹の丘まつり」が10月8日に開催され、私たち「たかつ支部」は判定5(要注意)ですが、熱心に説明を聞いていました。私は判定3(普通)で

は骨密度チェックを行いました。測定結果の説明は組織部の石田雄二さんにお願いいし、入り口の狭いスペースでしたが、測定器をセツトして、祭り参加者に声をかけての測定です。

杖をついた樹の丘利用者も付き添われて参加、結果は判定5(要注意)ですが、熱心に説明を聞いていました。私は判定3(普通)で

ですが、判定2の人が多く、判定1の人も数人いて、ちょっと悔しい思いをしましたが、みなさん関心が高いよううで23人が参加しました。

昼食は交代で模擬店の焼きそばや赤飯を買って食べ、舞台企画もにぎやかでした。高津小学校の生徒によるお囃子同好会が今年も出演していました。

たかつ支部 山本 武彦

## スタンプリーが大人気

社会福祉法人しいの実会が主催する「しいの実まつり」に参加しました。

10月1日、早朝までの雨降りで開催が危ぶまれましたが、涼しくてにぎやかなおまつりになりました。

会場は3カ所、おかし工房しいの実のお店ではお

菓子の販売と喫茶コーナーを、木月伊勢町公園では模擬店やおたのしみ広場を開催、ルーマ三色すみれでは健康チェ

笑顔の一日でした

ックを行いました。3カ所をまわってスタンプリーをするのと1等賞ディズニーランド入場券が当たる抽選ができるので、8人で行った体組成、血圧、足指力チェックも大忙しでした。

無料でできる血圧と足指力チェックは大変喜ばれました。

小杉支部 木村 英子

## 加藤さんとお別れ

大師のおしゃべり喫茶(班会)の立ち上げから中心的メンバーの加藤淑子さんが9月29日のおしゃべり喫茶を最後に栃木県に永住するため、この日でお別れすることにしました。

看護師の現役時代から関わったおしゃべり喫茶は加藤さんにとってもかけがえのないものだったと思います。

そして今ではこのおしゃべり喫茶に集まるのはスタッフを含めて25人を超える数にまでになりました。

きつと加藤さんのことで

すから、2回に1回は顔を出してくれるような気がします。

組織部 小林英次



さみしいけれど...

## 運転手募集!

- 募集事業所
    - ◆久地診療所 (高津区久地)
    - ◆大師診療所 (川崎区大師)
    - ◆本部 (川崎区藤崎) ◆その他
  - 業務内容
    - ◆デイスリーブ利用者の送迎
    - ◆午前・午後 一日3時間程度
    - ◆患者個別送迎 (川崎市全域の患者送迎: 一日7時間勤務週3日程度)
    - ◆往診の運転手
  - 時給
    - ◆1H時給 1,000円
    - ◆交通費 実費支給
- 【問い合わせ】  
川崎市川崎区藤崎4-21-2  
☎044-270-5881  
川崎医療生活協同組合 総務部 佐藤秀樹



# 組合員の広場

## 鈴なりのぶどうに大満足

絶好の行楽日和となった9月25日、観音支部で恒例のバスハイイクに行きました。子どもを含めて51人の参加者に乗せたバスが、朝7時に川崎を出発して最初に向かったのは山梨県石和町にあるモンデ酒造。ワイン工場の見学はさつさと済ませ、赤、白、ロゼなどワインの試飲に舌鼓を打ちました。



鈴なりのぶどうの下で

子どもたちもおいしいブドウジュースに大満足。お

## 全身でリズムを感じて



太鼓の音に感動の子どもたち

地域の子どもたちの交流と健やかな成長を目的に川崎太鼓仲間『響』の協力で毎年開催

今年のは「走楽ラ」で、かけ声を掛けながら低学年の子は立て打ちで、高学年の子は斜め打ちに挑戦しました。子どもたちの感想文には、

## さんまつかみどり

10月2日、トロッコ列車に乗り遅れないために早めの出発になりました。アクアラインの海ほたるで休憩の後、小湊鉄道の養老深谷駅から里山トロッコに乗車。沿線ではかかしたちの歓迎を受け、トロッコの模型



さんまのつかみどり

「最初は難しかったけど、最後は上手く出来てうれしかった。」「初めてかっこいい太鼓の演奏を見て驚いた。」と書かれていました。2時間のハードな練習の後に行なった発表会で、子どもたちの生き生きとした表情を見てみると、たとえ半日の経験であっても本物の音楽に触れることで、大きな自信と達成感に繋がると感じられました。

## 塩浜町会 運動会で健康チェック

10月16日の晴れた日曜日、塩浜北の崎公園で恒例の町内会運動会が行われました。寒くなく暑くなくの運動会日和でした。



健康チェックコーナーには競技の合間に参加者が血圧チェックや体組成チェックに訪れます。毎年このとりくみもすっかり定着しています。南大師支部から4人、大師診療所の看護師堀川恵利子さんと組織部の小林英次さんが健康チェックに参加しました。南大師支部 佐野 英俊

## 班会探訪

第1回

## すこやかダンベル班

## 体操とおしゃべりで15年間健康維持

川崎医療生協では、「班」と呼ばれる組合員によるさまざまなグループ活動があります。その数は300にもなります。どんな班がどんな活動をしているのか、元気で楽しく活動している班をシリーズで紹介していきます。(編集部 城谷 創一)

### 始めてから15年以上

「すこやかダンベル班」が生まれたのは15年以上前です。当時、医療部会(現日本医療福祉生活協同組合連合会)ですすめていた「ダンベル体操」を私たちがやってみようということになり、近所の人たちに声をかけて集まったのが始まりです。毎週木曜日の夜8時から市宮宿河原東住宅の集会所に集まって、まずはみんながそろって



元気いっぱい!

参加人数は4人から10人位とそ



五目タンメンおすすめ!

が、日々の生活が活発になった、「体操も体にいいですが、おしゃべりも楽しい」、「20年間無理をしないで気楽にやっています。体操以外に週2回卓球もやっています」と話しています。年齢は70歳から81歳ですが、年齢を感じさせないほどです。班員のひとり、吉田幸江さんは「地域のみんなが集まって日々顔を合わせているのがいい、何かあった時に助けあえる関係がつくれている。それがこのすこやかダンベル班の魅力だと思います」と話します。

### 班のオススメ

すこやかダンベル班のみなさんがお勧めする近所のお店が、JR南武線「宿河原駅」近くにある「杭州」です。親子できりもりして、1階が親御さんがやっている中華、2階は息子さんがやっている焼肉屋という作りで、ある班員さんは「1階の奥さんが優しく2階のお兄ちゃんはいケメンだよ」と言います。豊富なメニューの中で班員のお勧めは、具だくさんでボリューム満点の五目タンメンです。

読者の広場

文化・地域

川崎ふらり文学日記

第58回 川崎大師編(最終回) 『電車で初詣』

「落蓋ひさげる見れば 川崎の大師参道春うつくしー」

これは吉野秀雄が1933(昭和8)年に川崎大師の初詣に訪れた際作った短歌です。秀雄は昭和初期に活躍した歌人です。川崎大師編の最後はやはり一年で一番賑わう初詣についてみていきたいと思います。

イベントとしての初詣

初詣の起源をみていくと、鉄道の普及と関係があることが分かります。まず1872(明治5)年川崎駅ができることと、利便性が向上し、川崎大師への参拝客が増えます。さ



初詣を普及させた京浜急行

らに川崎大師へも路線を伸ばすべく1899(明治32)年に誕生したのが大師電気鉄道、のちの京浜急行電鉄です。このことが参拝者を恒常的に増やす起爆剤となりました。

いになりました。(明治期に阪急電鉄が中心にブームをつくりだしたようです) 恵方自体の風習は主に関西が中心ですが、参詣に限らず、今では節分に恵方巻(恵方を向いて)を食べるのが関東でも一般的になっています。さらに1873(明治

それまで川崎大師は毎月21日が縁日で賑わっていました。またそれとは別にその年の恵方の神社へ参拝する恵方詣りの風習があり、その年の恵方の神社に当たると大変な賑わ

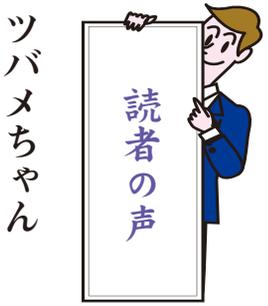
6)年に太陰暦から太陽暦を導入します。時代は資本主義社会への転換の中で曜日概念が誕生

し、明治中期になると日曜日や正月三が日の休日が広がり、縁日詣りに来られない労働者が正月詣りをする風習が広がりました。そこへ鉄道は参拝客を輸送します。気軽に時間をかけずに足が運べるようになることはもちろん、鉄道会社にとっては正月に客が増えそうなることを見越し、大晦日から元旦にかけての終夜運転をはじめたりと、鉄道会社にとつては増収増益の事業となるわけです。東日本で初の電気鉄道である大師線と川崎大師はコラボして、初詣文化をつくり出す火付け役になりました。

川崎大師の1年

初詣以外では1年間川崎大師では何が行われているでしょう。節分のイベント、ゴールデンウィークにはこどものイベント、夏には風鈴市、それ以外にも地域のイベントには必ず川崎大師も関わっています。いつの時代も人々を魅了するエンターテインメント性が高く、ピンチをチャンスに変えるバイタリティーあふれる寺ともいえるでしょう。今年も残すところ2か月。この激動の時代に川崎大師がいつまでも私たちの心の拠り所としてあってほしいですね。

冒頭の秀雄の短歌は、1933年がちょうど川崎大師が恵方の年で、初詣をした時の歌です。恵方詣りは大正期に入ると全体的に次第に廃れてい



読者の声 ツバメちゃん 川崎区 国本 玉代

今年も巣が小さくて子ツバメが7羽も巣から落ちてあーかわいそう。2羽はカイロで暖めると元気がなりましたが餌が食べられず、小鳥屋に相談しましたが無理だといわ

れあきらめました。しばらくしてびつくり親ツバメが巣を5cm程立ち上げてリフォームしていました。そこで生まれた5羽が育ち、飛べるようになりその姿を楽しませてもらいました。2羽が何処へ?なかなか帰らない、1羽は夜になると帰宅。もう9月なのに行動を共にしないの?と心配で声をかけたりしていましたがしばらくして巣立ちました。

さびしいけれど良かった良かつた無事を祈りながら...来年もまつてるよ。

と心を打たれました。父の兄弟姉妹が9人男6人、父を除いて5人が戦争にかりだされ、2人が負傷、1人は右足切断。2度目の手術では麻酔薬が無く野戦病院でのこぎり切断したそうです。おじはその話を私に何十回と話してくれました。

ケチな私 高津区 竹内 フミ子

おじの話 高津区 石井 博

パズルの解答を余った年賀ハガキに書いていま

川崎駅前支部 あじさい班 大見 経子

す。裏面に紙を張って答を書いてポストへ。年金暮らしなので少しでも節約しなければ...ケチな私かしら。

あさお診療所事務長 岡 琢也

班会日誌

9月度 33支部 126班 752人

Table with 4 columns: Branch Name, Activity, Date, and Participants. Lists various activities like 'おしゃべり会', '健康チェック', '折り紙' across different branches.

みなで楽しい班会、3人以上集まれば、班がつくれます。近くの町内会事務所や組合員のお宅、病院・診療所の組合員ルームなどを利用して、楽しい班会をひらきましょう。

# 読者の広場

## 語り継がねば

川崎区 岩本 千賀子  
医療生協ニュース8・9月号8面に載っていた野末悦子先生の終戦のころのお話は文章を読んだだけでも辛い思い出ですが、体験はとも、とても辛かっただろうと思います。戦争を知らない世代に語り継がねばならないことだと思いました。

## かわさき

### 福寿手帳が

中原区 大前 三枝子  
気持ち若いつもりでしたが、65歳になりました。川崎市からかわさき福寿手帳が送られて来ました。人ごとのような気がしますがそんな年齢になったのだと自覚を求められたのでしよう。医療生協の新聞も身を入れて読まねばと思えました。

## 老人と自転車

中原区 須山 孝  
私は長年自転車に親しんでいます。すでにこの乗り物と疎遠(体力的)になっていく方もいます。これからも友としていつものように元気に利用を願っています。老年にいろいろな製品



川崎区 筆本 三希  
5年ぶりに健康診断を受けました。糖尿病予備

## 賞味期限...



クロスワードパズルの余白に書かれた「お便り」は、紙面に掲載させていただくことがあります。ご了承ください。

軍と診断され痩せまじょうと言われたので自己流で野菜中心の生活と早朝に毎日1時間以上、早足でウォーキングをしました。2カ月で体重は4キログラム減少、数値も正常化しました。娘もまだ小学生、まだまだ長生きしたいのでこれからも頑張ります！

## 頭の体操

川崎区 石川 剛  
クロスワードパズルは頭の体操です。この頃はこれはいかがかと頭を使うようになり、毎回楽しみにしています。

## 日々健康に

中原区 岸本 綾夫  
先日、顎のがんで友人が永眠しました。虫歯の治療時にがんが発見されて闘病生活に入り数年で召されました。苦しい闘病生活の中懸命に生きるために頑張っている姿を

## 運動会

川崎区 神保 幸子  
思いのほか早く秋が来そうですね。町内の運動会に孫と参加するのが楽しみです。



川崎駅前支部あじさい班 森 路子

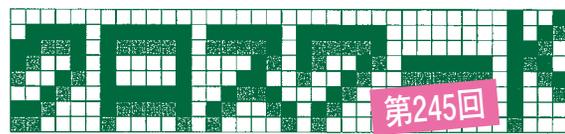
## 新年号 組合員参加企画 大募集

### 「僕のゆめ 私のゆめ」

新年号の「組合員のひろば」では、みなさんの「夢」で紙面を飾ります。ご自身、お子さん、お孫さんの「夢」をご家族の写真と一緒に応募してください。掲載者にはお年玉を進呈。

### 〈応募要項〉

- 原稿：「夢」100～200字以内と写真1枚
- 締切：12月10日(土) 必着
- 郵送：〒210-0802 川崎区藤崎4-21-2 川崎医療生協組織部
- メール：s.shirovani@kawaikyo.or.jp



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの6文字をうまく並べてできる言葉は？



メールでの送付先 s.shirovani@kawaikyo.or.jp

## 目のカギ

- 多すぎたり、足りなかつたり。〇〇〇〇なし
- 秋の日は〇〇〇〇落とし
- 印刷物はこれを見て校正します
- 鬼のパンツはいいパ
- 11月23日は〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇の日
- 花の名前。英語ではリリー
- 間違った字です
- パーティーではおなじみの〇〇〇〇ゲーム。カ
- 〇〇〇〇
- 観光旅館に泊まった朝はこれが定番でしょう
- サウナ風呂発祥の国です
- 生田〇〇〇〇。等々力
- 健康増進法25条は〇〇〇〇喫煙防止措置を求めています
- 着物を販売している〇〇〇〇屋
- 大野、櫻井、相葉、二宮、松本といえば？
- 〇〇〇〇
- 〇〇〇〇
- 〇〇〇〇

## タテのカギ

- オペラを日本語でいうと？
- 避雷針を発明した米国人。ベンジャミン・〇〇〇〇〇
- 肉体的・精神的苦しみ英語で「双子」のこと
- 薄く切った板を張り合わせました。〇〇〇〇板
- 仕事から解放されて自由に使える時間。〇〇〇〇
- 11月15日、子どもの成長を祝います
- 小指をからめて約束します
- 健康増進法25条は〇〇〇〇喫煙防止措置を求めています
- 着物を販売している〇〇〇〇屋
- 大野、櫻井、相葉、二宮、松本といえば？
- 〇〇〇〇
- 〇〇〇〇

243回 解答と当選者

答え「ボウサイグッズ」

イ	ガ	コ	ウ	ボ	キ	ン
ワ	イル	ド	ウ	ズ	レ	サン
シ	ア	モ	ー	イ	サ	ン
グ	レ	ー	イ	サ	ン	マ
モ	ン	シ	ウ	ニ	ト	イ
ジュ	ウ	ニ	ト	イ	ロ	ウ
コ	ウ	サ	ク	ス	モ	ウ

## 応募要項

パズルの答えは、葉書で左記までお送り下さい。住所、郵便番号、氏名、電話番号、よろしければ年齢を記入して下さい。メールでの解答

### 〈送付先〉

〒210-0804 川崎区藤崎4-21-2 川崎医療生協本部編集委員会

### 〈敬称略〉

大瀧 一誠 (高津区) 古川 洋子 (高津区) 堀川 玲子 (宮前区) 野中富土枝 (多摩区) 徳永 詩歩 (多摩区) 脇 治以 (麻生区)

も可です。医療生協新聞への感想・近況等を余白に記入していただければ幸いです。正解者の中から抽選で20人様に図書カードをお贈りします(連続10回当選しなかつた方にも進呈します)。締切りは11月25日消印有効、発表は新年号紙面です。

# 平和の広場

私の戦争体験

## 伝えたい思い



麻生南支部 杉山 まさ江さん

### 恐ろしい爆音…私たちは生きている



左から2番目が杉山さん (1955年頃)

**主人に赤紙が**

昭和20年3月、とうとう主人に赤紙が来た。入隊までに1週間、作りかけてあった防空壕の仕上げを急ぐ主人は多忙だった。

私は、当時小学1年の長女、3歳の長男、生まれて半年の次男を抱え、これからどうしようかと考

える間もなく、主人は軍隊へと連れ去られた。出征した主人から、はがき1枚来ないまま、3月24日夜遅く空襲警報が高々と鳴り渡った。

その瞬間、ゴーツゴーツとものすごい轟音がしたと思うと、ドッカーンと耳をつんざく音とともに豪を揺るがす地響き

急ぎに空が明るくなった。と、大空から提灯か風船のようなものがかいくつも、ふわりと降りてきて豪の近くにもその一つが落ち、白い煙をはいって消えた。

#### 轟音と地響の中

日本国中が焼け野原になった8月15日、長い戦争が終わった。今晩から電灯をつけてご飯を食べ

悲鳴とも断末魔ともつかぬ、この世の終わりがかと思ふほど、声の限り叫んでいた。

杉山さんは2000年に84歳で亡くなられました。この手記は、杉山さんが体験を後世に伝えるために残したものです。

戦争はいけないことです。戦争とは人が人を殺すことです。私は死ぬまで戦争に反対します。皆さんもどうかそういう人になつて下さい。

## 「公害は終わった」のではない 「変わった」のだ! ぜん息学習会

京町診療所と川崎公害患者と家族の会が共催し9月30日、京町診療所・組合員ルームを会場に「ぜん息学習会」が開催され19人が参加しました。

学習会では倉田眞行医師(京町診療所所長)が「ぜん息の治療と薬・日頃気をつけたいこと」、を川崎公害患者と家族の会が「大気汚染公害と被害者救済制度」について話しました。

倉田医師は「ぜん息は気道が炎症し狭くなる病気で、炎症はタバコやホコリ、大気汚染による刺激に気道が反応を起こすことが原因」だと説明しました。

治療として①飲み薬②吸入器、点滴③漢方薬をあげ、患者の症状によって選択する

ることや使用する薬の薬効について解説されました。日常生活での注意として、主治医の指示を守ることがを前提に精神的ストレスを受けない、かぜにかからない、インフルエンザ予防接種を受けるなどの必要性を強調されました。

患者会からは「空気はきれいになった」「公害は終わった」と言われる中、川崎市の「成人ぜん息患者医療費助成制度」の新規認定者が年間1120人、小児ぜん息医療費支給制度の適用者は7000人に達しているとし、公害発生の原因が変わってきたこと、患者が増え続ける中で川崎市は「成人ぜん息患者医療費助成制度」の見直しに言及し



熱心に説明する倉田医師

ていると指摘しました。最後に川崎での助成制度を守ることも全国的に新たな救済制度をつくること患者救済につながることを述べました。

川崎公害患者と家族の会  
堀田 恵子

## 原子力空母は いらない!!



### 横須賀集会に参加して

10月2日、ヴェルニー公園(横須賀市)で開かれた「原子力空母永久母港化に反対する10・2横須賀集会」に友人と共に参加しました。

1973年10月に米空母ミドウェイが横須賀を「母港」としてから43年、原子力空母ジョージ・ワシントンからロナルド・レーガンに交代し1年が経ちました。

ヴェルニー公園が臨海公園と呼ばれていた1973年は1月に「ベトナム和平協定」が調印され、3月には米軍がベトナムから撤退し、アメリカの敗北が決定しました。

沖縄返還闘争(72年に返還)、ベトナム戦争反対や横須賀の母港化に反対する運動は70年安保闘争と共に

大きなうねりとなりました。私の青春時代でした。当日は秋晴れ、右翼の街宣車が大音量を響かせる中、2000人(川崎医療生協から34人)が参加しました。

集会では日米ガイドライン改定や戦争法が強行される中、基地機能強化と日米一体化が進んでいることが指摘され、

地元では原子力空母の母港化の是非を問う住民投票を求める運動が進んでいることが報告されました。

基地ゲート前、横須賀中央駅前を通るデモでは米軍の家族や自衛隊員の姿



プラカードを掲げる参加者

も多く見かけました。基地の町横須賀をあらためて実感しました。

「健康チャレンジ」で1日8000歩を目指していますが目標を大きくクリアした1日でした。

理事 鷲北 栄治

## 第20回組合員活動交流集会

日時 2017年1月28日(土)  
場所 サンピアンかわさき (川崎市立労働会館 川崎区)  
講演 宮澤 由美 先生 (汐田総合病院副院長)

